

こころ育てる絵本との出会い

マカ'ちゃん通信

2010 10 - 11 vol. 4



絵本原画展

いいの かずよし
飯野 和好

特集

思い出の絵本



飯野和好 いいのかずよし



撮影 村上圭一

あさたろうとマツイヒデキ、
勇気に満ちた人気者。
愉快痛快、人情くすぐる
飯野劇場のはじまり はじまり

飯野和好 (いいのかずよし) プロフィール

絵本作家・イラストレーター。1947年埼玉県秩父に生まれる。生家の農家は『むかでのいしゃむかえ』(福音館書店)に、子ども時代の体験は『ハのハの小天狗』(ほるぷ出版)に描かれている。雑誌『an・an』の「気むずかしがりやのピエロットのものがたり」でデビュー。

絵本に「くろずみ小太郎旅日記」シリーズ(クレヨンハウス)、『妖怪絵巻』(童心社)他多数。『ねぎぼうずのあさたろう その1』シリーズ(福音館書店)で、第49回小学館児童出版文化賞受賞。同名のアニメーションは、第13回文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品。絵本の読み語り講演で、股旅姿で全国を渡り歩いている。神奈川県在住。

© 飯野和好/美術出版社



『ぼくちんち、マツイヒデキ!』
(学習研究社)



『ねぎぼうずのあさたろう その7』
(福音館書店)

原画展示絵本

絵本原画展開催
10月1日(金)〜11月28日(日)

本展では、『ねぎぼうずのあさたろう その7』

『ぼくんちに、マツイヒデキ!?』2冊の絵本原画をご紹介します。

飯野和好先生に

インタビュー



絵本作家になられたきっかけは?

20代はイラストレーターになりたくて、売り込みの日々。そして少しずつ仕事ができるようになりました。描き続けているうちに、自分の中に物語が好きなんだという自覚がはつきりしてきて、ストーリー性のあるイラストレーションを描き始めました。1969年に雑誌「an・an」で堀内誠一さんに使ってもらったのが大きなきっかけになりました。堀内さんにはファンタジーの本質を教えて頂いたのです。

画材は何を使っていらっしゃいますか?

初期の頃は、ボールペンにマーカー・クレヨン・パステルなどでしたが、現在はB4鉛筆(UNI)に透明水彩絵の具(ウイレンザー、ニュートン、クサカベ)です。画用紙はワトソンです。

『ねぎぼうずのあさたろう』の誕生秘話や制作秘話を教えてください。

雑誌の連載として作りました。大好きだった映画、時代劇や西部劇、そして毎年のように村にやって来た旅芸人の芝居などとても刺激になっています。股旅物の絵本を作ろうと思い、農家育ちで、野菜はなじみが深かったので、

すぐにねぎ!そして人の形のねぎぼうずが浮かびました。あさたろうの名前は国定忠治の中の「いたわりのあさたろう」や、野菜だから朝がいい!からイメージしました。

『ぼくんちに、マツイヒデキ!?』の誕生秘話や制作秘話を教えてください。

編集の方がくろずみ小太郎の顔を見た瞬間に「あつ、この顔はマツイヒデキだ!」と思って、私に依頼の電話をしたそうです。本当にびっくりですね。私は松井秀喜選手が高校生、読売ジャイアンツ時代からの大ファンですので、またびっくり!!でした。ようしつと、描くのだったら思いっきり松井選手らしいエネルギーあふれる絵を描こうと張り切りました。



(クレヨンハウス1997年)

絵本制作の過程で楽しいところ、大変なところを教えてください。

まず登場人物をイメージして、考えるのが大変楽しいですね。映画と同じように場面場面のつながりを構成演出し

ていくのもまた楽しいです。場面から言葉や音や風景の感じが立ち上がってくる時が描いていて一番楽しみのところですね。

絵本をお作りになるときのこだわりは?

一冊の本になるので、気持ちを込めて、一筆一筆でいいに描いていくように気をつけています。こだわりはエネルギーに満ちたものにするという一点です。

今後どのような絵本を描いていかれますか?

以前はヨーロッパのファンタジーに興味がありましたが、十数年前、イタリアのボローニャへ行った時以来、日本のファンタジーに向かってみようと思うようになりました。これからも語り部のおばあさんの話や昔の不思議な話などを参考にして絵本を展開していきたいと思っています。子どもも大人も楽しめる絵本を目指して行きたいです。

ご趣味についてお聞かせ下さい。

気の合う仲間とブルースバンドをライブハウスでやっています。音楽はいいですね。体が元気になります。私はブルースハーモニカと歌です。

お好きな言葉を教えてください。

「こんにちば」です。

あいさつの言葉は古風でも新しい形でも皆気持ちがいいので好きです。

ファンの方へメッセージをお願いします。

いつも絵本を見てくださり、応援の言

葉を頂き、ありがとうございます。とても嬉しく励みになります。

「ねぎぼうずのあさたろう」や「くろずみ小太郎」をお芝居にしたり、人形を作ったり、色々と遊んでください。自分が作った物語絵本をたくさんの方々に可愛がってもらい、楽しんで頂けるのは大変幸せなことと実感しております。

これからも一生懸命面白い絵本を作っていますので、ひきつづき応援、時には辛口批評もよろしくお願い致します。

飯野和好先生、ありがとうございました!

※表紙「ねぎぼうずのあさたろう その7」
(福音館書店より)

飯野和好先生 サイン入りの絵本を 3名様にプレゼント!



応募方法 氏名、住所、電話番号をご明記のうえ、ハガキでご応募ください。

あて先 〒939-0283 射水市鳥取50

射水市大島絵本館「飯野和好サイン本プレゼント係」

締め切り 平成22年10月20日 消印有効

※発表は発送をもって代えさせていただきます。



田中祥子

射水市大島絵本館 主任指導員

特集 / 思い出の絵本

思い出の絵本と 再会するということ

大島絵本館のライブラリーでは、大人のお客様の「この絵本、懐かしいな。よく読んでもらったの」という声をよく耳にします。思いがけず幼い頃の思い出の絵本に再会し、目を細めながらページをめくる姿に出会うと、私もとても嬉しくなります。

*

私にもそんな絵本があります。中でも特別な一冊は「いちごばたけのちいさなおばあさん」。母が幼かった兄と私に数え切れないほど読んでくれ、そのうち暗記してしまった兄が私に何度も話して聞かせてくれました。いつしか絵本を読まなくなった私が再びこの絵本に出会ったのは、16年前。開館準備中のことでした。見つけた時は体が痺れるような感動を覚えました。家に帰って探すと、幸い本棚の隅にまだその絵本がありました。開いてみると幼い日の記憶が次々に蘇り、絵本のページのよれ具合や汚れまでもが懐かしく、読んでくれた母の顔、兄の声。一瞬のうちに当時の温もりが包まれたようでした。以来この絵本は、同じ感動を分かち合い、愛情を注いでくれた家族の象徴のように思われ、私を支え続けてくれている、宝物とも言える一冊です。

あるお客様が、思い出の絵本「はなをくんくん」をお子さんと読みたいと手に取られ、とても驚いておられました。記憶の中ではカラーなのに白黒だったなんて！と。読んでもらいながら絵本の中でどこまでも自由に想像の翼を広げておられたからこそカラーとして記憶に残っているのだと思いました。

それは素晴らしい絵本だからというところもあるでしょう。ですが、お母さん（その人を大切に思う誰でも）が自分の為に読んでくれる絵本を、目で絵を、耳で声を、肌で温もりを、心でその全てを味わいながら…全身で絵本を体験したからだと思えてなりません。

*

共に絵本を読むということは、心の根っこや絆を強くしてくれる思い出の種蒔きの時間なのかもしれません。その絵本を介して一緒に過ごした時間が温かく濃いものであるほど、種は育ち実を結び、かけがえのない一冊となるでしょう。私もそんな絵本体験を子どもたちと重ねていきたいと思っています。そして、大島絵本館が皆様にとって、沢山の絵本と出会うとともに、思い出の絵本とも再会し、思いを深めていただけの場となればと願っています。

私のおすすめ絵本

『まめうしとあいうえお』

あきやまだし／作
PHP研究所



「あいうえお」の五十音でこんなに遊べるなんて！まめうしと一緒に全身を使って楽しめる、大笑い・大盛り上がり・大満足の一冊。

『ナッチのおかいもの』

新沢としこ／文
かわかみたかこ／絵
ポプラ社



パズルの様子がとても可愛くて楽しい！作中の歌を口ずさみながら読める絵本。残念ながら絶版となっているそうです。

『いちごばたけのちいさなおばあさん』

わたるむつこ／作
中谷千代子／絵
福音館書店



いちごが赤くなるのは、畑の下に住むおばあさんが赤い色を塗っているから。でも次の日に雪が積もってしまって…。夢いっぱいの絵本。



『ものすごくおきなプリンのうえで』

二宮由紀子／文 中井純子／絵
教育画劇
大きくて美味しいものが沢山！うっとりします。



『ねこざかな』

わたなべゆういち／作
フレーベル館
猫と魚のはのぼりとした
奇妙な友情が楽しい。



『キャベツくん』

長瀬太／作
文研出版
「ぶきや」は、
声がかかるほど叫びます。



『あひるのバーバちゃん』

神沢利子／文 山脇百合子／絵
偕成社
幼い頃、ポケットがいっぱいの
靴に憧れました。



『はなをくんくん』

ルース・クラウス／文
マーク・サイモント／絵
きまはじめ／訳 福音館書店
白黒で描かれた絵本が、カラーとして記憶に。